

活動実績報告書

林野庁長官 殿

令和6年5月7日

登録番号 20230637

氏名 伊藤 允彦

森林総合監理士登録・公開の運用について（平成26年4月1日付け25林整研第268号林野庁長官通知）第3の2の規定に基づき下記の期間における活動実績を報告します。

令和3年4月 ～ 令和6年3月

（活動の内容）
別紙のとおり。

【利用目的】

私は活動実績報告書（以下「報告書」という。）に記載し提出する個人情報について、以下に規定されている利用目的について確認し、同意します。

←同意した場合は✓を記入して下さい。

- 報告書は、林野庁ホームページに公開し、森林総合監理士の活動実績を紹介するために利用するものとする。
- 1のうち、市町村及び地域の林業関係者への典型的な技術的支援の事例については、事例紹介の資料として公開するために利用するものとする。

【注意事項】

- 活動実績は、直近の過去3年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。
- 報告書は、A4としてください。
- この報告書は、林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。
- 利用目的に☑が記されていない届出書については無効とし、廃棄します。

森林総合監理士 活動実績報告

1 概要

登録番号	20230637	
氏名	伊藤允彦	
活動期間	令和3年4月～令和6年3月	
活動地域	静岡県下田市、賀茂郡東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	
件名	航空レーザ測量・森林解析データを利用した生産団地の設定及び市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定	
連携者	相手	支援内容
	林業経営体プランナー	森林経営計画の作成支援
	林業経営体現場作業員	路網開設への指導助言
	市町村職員	市町村森林整備計画の見直し支援

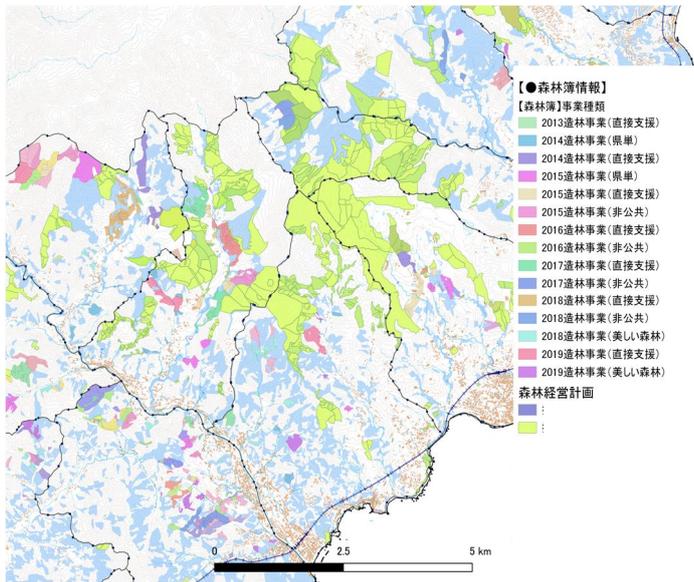
2 要旨

課題	<ul style="list-style-type: none"> 活動地域は広葉樹が約6割を占め、針葉樹の本格的な素材生産は近年取組み始めたところ 活動地域は市場までの距離も遠くかつC・D材の割合が多く、ha当たりの搬出量が県内他地域と比べて少ない。 主伐・再造林の推進に向けては、関係者で合意形成を図り、生産適地の設定と収益性の高い施業を実施する必要がある。
取組	<ul style="list-style-type: none"> 活動地域内において主伐・再造林を促進するため、以下の取組を実施 <ol style="list-style-type: none"> 高精度森林情報や微細地形図の共有・利用支援 生産団地の設定及び森林経営計画の作成支援 路網線形や作業システムの提案 施業内容の費用対効果分析 市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定支援
成果	<ul style="list-style-type: none"> 東伊豆町、河津町、南伊豆町、西伊豆町において主伐・再造林を推進する生産団地を設定 当該区域内に市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」を設定 生産団地内において、10tトラックが通行可能な基幹的な作業道の開設（約2,000m） 活動地域内において令和2年度は1.5haであった主伐・再造林面積が令和5年度には9.52haに増加 令和2年度末に15千m³であった6市町内の素材生産量が、令和5年度末には24千m³と3年間で9千m³増加

3 活動内容の詳細

(1) 高精度森林情報や微細地形図の共有・利用支援

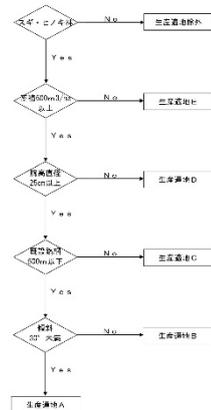
<p>共有支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県が実施した航空レーザ測量・森林解析データにより取得した高精度森林情報や微細地形図を、管内の林業経営体が組織し、国、県、市町村がオブザーバーとして加入している「南伊豆地域森林資源活用推進協議会」にて共有  <p style="text-align: center;">データ共有にあたっては各経営体・市町を訪問</p>
--------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>利用支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各林業経営体や市町村を訪問し、それぞれが保有するGISにおいて、高精度森林情報や微細地形図を表示し業務で利用できるよう支援 ・「南伊豆地域森林資源活用推進協議会」において、県がオープンデータとして公開している森林簿及び森林計画図を利用し、施業提案に必要な樹種、作業履歴等、GIS上の「汎用データ」を整備  <p style="text-align: center;">「汎用データ」(施業履歴・森林経営計画)</p>
--------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

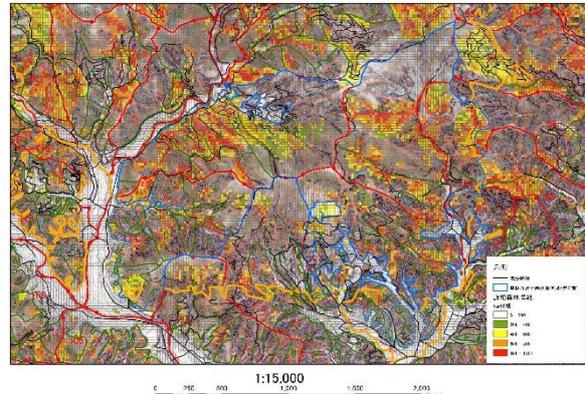
(2) 生産団地の設定及び森林経営計画の作成支援

作成等支援

- 各林業経営体及び各市町へのヒアリングを基に、主伐適地を設置するフロー図を作成するとともに主伐適地を設定し、森林経営計画の作成を支援



フロー図



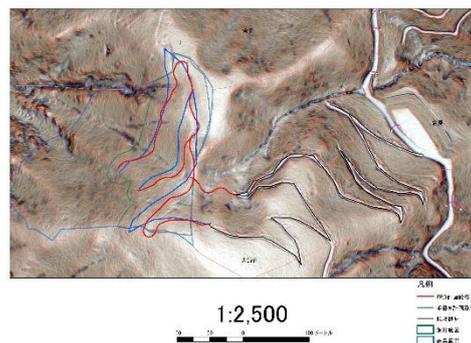
主伐適地の表示

- 各市町及び各林業経営体において合意形成を図るため、「南伊豆地域森林資源活用推進協議会」において、森林経営計画の拡大方針をGIS上で共有

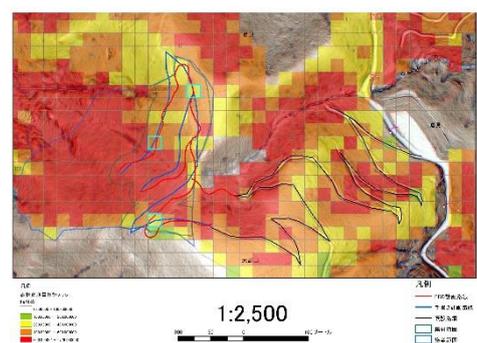
(3) 路網線形や作業システムの提案

施業提案

- 生産団地内で設定された主伐・間伐計画や路網計画の具体化のため、微細地形図や 10m×10m区域の材積情報を基に、目標収穫量を定め、到達したい材積の多いエリアを設定した上で路網密度が過大となっていないか、沢地形や脆弱地形を通る線形となっていないかを指導・助言
- 必要に応じ、計画段階で施業予定地において急傾斜地における施工方法等を現場作業員に対し指導・助言



微細地形図



材積情報図

(4) 施業内容の費用対効果分析

施業分析

・作業道開設、伐木・造材等の各工程における労働生産性や、造材方法等を分析し、主伐・再生林の採算性向上を支援

労働生産性 (m³/人日)

区分	R2	R3	管内平均
車両系/架線系	車両系	車両系	—
路網密度(m/ha)	530	530	418
伐採	16.0	22.2	22.9
木寄せ・集材	3.0	35.0	26.9
造材	15.5	34.1	25.8
林内運搬	33.0	22.0	28.5
仕分け/検知	56.5	—	86.4
全体	5.2	6.8	5.5

昨年度の労働生産性と比較し、向上した項目

(1) 伐採 (2) 木寄せ・集材 (3) 造材

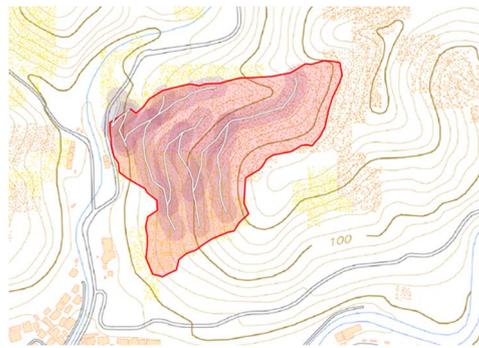
※全てR2では管内平均以下だった項目

樹種	長さ	規格	行先	備考
スギ	4m	18cm以上		
	3m	16cm以上		
	4m	30cm以上		節、曲がり×
	4m	8cm以上		
	3m	低質材		最低2.8m程度の長さが欲しい
ヒノキ	2m	元玉		腐り、うろ、段木×
	4m	16cm以上		
	3m	14cm~20cm		曲がり、節 注意
	4m	8cm以上		
	3m	低質材		最低2.8m程度の長さが欲しい

労働生産性分析

造材方法の分析

・より精度の高い収量予測に向け、高精度森林情報と標準地調査の収量予測を比較・検証



精度検証 (材積比較)

区分	実績	レーザ解析	標準地
スギB材	142	199	261
ヒノキB材	170	101	132
C材	110	128	93
合計	422	428	486

・合計材積について実績とレーザ解析に大きな差異はない
(ヒノキを優先して搬出したため、樹種割合に差異が出た)

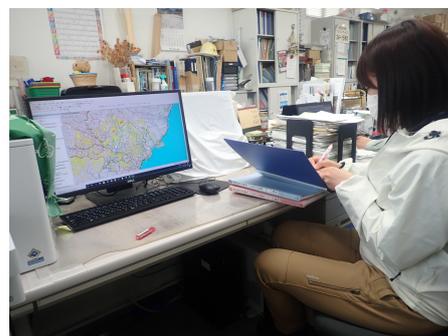
・利用間伐における目標材積の設定には、ある程度利用可能
(今回は誤差率の低いエリアだが、高いエリアでは補正が必要)

高精度森林情報を利用した収量予測の検証

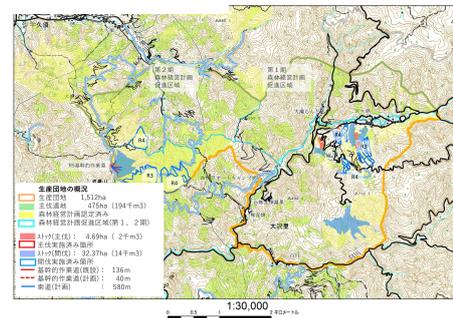
(5) 市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定支援

区域設定支援

・計画支援により作成した生産団地を基に、市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定を支援



各市町を訪問指導



生産団地

4 成果の詳細

(1) 生産団地及び「特に効率的な施業が可能な森林の区域」の設定

- ・東伊豆町、河津町、南伊豆町、西伊豆町において主伐・再造林を推進する生産団地を設定
- ・当該区域内に市町村森林整備計画における「特に効率的な施業が可能な森林の区域」を設定
- ・生産団地内において、10tトラックが通行可能な基幹的作業道の開設

市町	生産団地 (ha)	主伐適地 (ha)	基幹的作業道 延長 (m)	実績 (R3~R5)		候補地 (R6~)	
				間伐 (ha)	主伐 (ha)	間伐 (ha)	主伐 (ha)
南伊豆町	4,596	1,695	454	2.4	3.4	26.2	18.2
東伊豆町 河津町	1,604	1,028	1,409	37.1	8.0	60.8	22.2
西伊豆町	1,512	475	176	43.6	5.6	32.4	4.7

生産団地 一覧

(2) 主伐・再造林の促進

- ・活動地域内において令和2年度は1.5haであった主伐・再造林面積が令和5年度には9.52haに増加
- ・令和2年度末に15千m³であった6市町内の素材生産量が、令和5年度末には24千m³と3年間で9千m³増加



増産に向けて、主伐地における枝条・端材等の未利用材の搬出も実施